



2021年11月5日

各 位

会 社 名 株式会社秀英予備校
 代表者名 代表取締役社長 渡辺 武
 (コード: 4678、東証第1部)
 問合せ先 管理本部経理部長 紅林 信宏
 (TEL. 054-252-1792)

特別損失の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2021年11月5日開催の取締役会におきまして、下記のとおり決議しましたのでお知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上について

2022年3月期第2四半期において、当社は以下の通り特別損失を計上いたします。

・固定資産の減損損失

市場環境の変化等により売上高・収益が計画を下回っており、十分な生徒数確保が難しくなった校舎（愛知県2校舎、北海道1校舎、計3校舎）について、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき減損処理を行い特別損失28百万円を計上することといたしました。また、閉鎖・移転の意思を決定した校舎（静岡県1校舎、愛知県4校舎、岐阜県1校舎、北海道1校舎、計7校舎）について、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき減損処理を行い特別損失169百万円を計上することといたしました。

2. 2022年3月期第2四半期（累計）連結業績予想数値の修正（2021年4月1日～2021年9月30日）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想 (A)	4,750	△400	△405	△435	△64.83
実 績 値 (B)	4,945	△281	△284	△559	△83.39
増 減 額 (B - A)	195	118	120	△124	
増 減 率 (%)	4.1	-	-	-	
(ご参考) 前期第2四半期実績	4,831	△336	△348	△376	△56.16

・修正の理由

当第2四半期（累計）連結業績につき、売上高におきましては、新型コロナウイルス感染拡大による影響があるものの、年間計画を大きく左右する小中学部の夏期講習一般生募集および本科授業への9月入学数は期待値以上まで伸ばすことができました。また、営業費用におきましては、前期末の校舎閉鎖により、賃借料・校舎維持管理費用等の削減に努めたものの、社員数・アルバイト講師雑給の増加に伴う人件費の増加により全体として増加いたしました。

この結果、売上高は195百万円の増加、営業利益は118百万円の増加、経常利益は120百万円の増加となりましたが、親会社株主に帰属する四半期純利益は上記特別損失の計上により124百万円の減少となりました。

なお、2022年3月期通期連結業績予想については、現時点においてはまだ不透明でありますので、前回（2021年5月13日）公表の予想値を据え置くことといたします。今後の動向を見極め、修正の必要性が生じた場合は、速やかに開示いたします。

【参考】2022年3月期通期連結業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
通 期	百万円 10,700	百万円 350	百万円 335	百万円 275	円 銭 40.98

（業績予想に関する注意事項）

上記の予想は本資料の発生日現在において入手可能な情報に基づき作成しております。実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上